

- 1 施設名 おおち保育園
- 2 施設場所 邑智郡美郷町粕淵37番地4
- 3 事業主体 美郷町

4 施設の概要(建築に至った背景、施設の目的など)

旧邑智町内の4保育園が老朽化や定員割れのため統合することになり、定員120名規模の統合保育園を建設することとなった。統合保育園は子育て支援センターの機能も併せ持つため多くの町民の利用が見込まれる。また、園児が木のもつ優しさや温もりを感じたり、木が園児の健康に良い影響を与えることを期待して、木材をふんだんに使った園舎となった。

5 施設規模

建築面積 1079 m² 階数 平屋建

木材使用量

総木材使用量212m³(国産材100%、うち県産材99.6%、うち郡産材75.2%)
郡産材樹種別使用量(スギ75m³、ヒノキ22m³、マツ63m³)

- 6 事業費 355,114,200円
(うち園舎 253,537,200円)

7 写真



(外観)



(内部)

8 施設の特徴(アピール点)

県産材を99%以上(郡内産を75%以上)使用しており、遊戯室等広い空間を確保するためトラス工法を効果的に利用し、県外の集成材に頼らず地元の木材をうまく使う工夫をした。

遊戯室のトラス工法部分は梁が見えるように設計し、木材を剥き出しにすることで「木造」をアピールした。

フローリングは裸足の園児にとって最も木の温もりを感じる部分であるため、ヒノキの無垢材を惜しみなく(660m²)使用している。

9 木材利用において工夫・考慮した点

地元の製材品を活用しながら広い空間を確保するためにトラス工法を採用し、「木造」のインパクトを来園者に与えるために梁の構造をあらわしとした。

また、窓枠等の建具にも木材を積極的に使用し、内装の木質化にも出来る限り配慮した。